

登録コード	E8253307	開講年度	2026					
授業科目	社会科教育特別演習H						担当教員	松島 恒熙
英文授業名	Special Seminar of the Social Studies H						副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	①社会科教育に関連する専門分野（このクラスでは倫理学）における研究活動の成果を整理し、他者と議論できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	②学問的な研究成果を、論文として表現できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、多文化協働、キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	・ 倫理学分野に関わる文献研究と発表を行う。 ・ 各自の興味関心に沿った文献を選定し、論文執筆につなげる。 ・ 他者の発表を聞いた上で、その内容が深まるように対話を実施する。							
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：倫理学研究の領域と研究方法 第 3 回：倫理学研究の基本①ー研究テーマの探し方ー 第 4 回：倫理学研究の基本②ー関連文献の探し方ー 第 5 回：倫理学研究の基本③ー構想の立て方ー 第 6 回：倫理学研究の基本④ー論文作成のプロセスー 第 7 回：倫理学研究の基本⑤ー研究の深め方ー 第 8 回：倫理学研究の基本⑥ー研究成果の活用方法ー 第 9 回：倫理学関連論文の検討①ー方法研究ー 第10回：倫理学関連論文の検討②ーカリキュラム研究ー 第11回：倫理学関連論文の検討③ー授業研究ー 第12回：倫理学関連論文の検討④ー実践研究ー 第13回：倫理学関連論文の検討⑤ー思想史研究ー 第14回：まとめ（授業アンケートの実施） ※教育実習等での欠席者に対しては、適宜課題等での補講を実施する。							
(6)成績評価の方法	達成目標①について議論への積極的参加（30％）で評価し、達成目標②について研究内容（70％）で評価する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	上記の、議論への積極的参加、研究内容について ①問題の設定が適切である。 ②問題の背景を適切に理解し説明できる。 ③その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。 ④それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できている。 ⑤その上で自分の見解を創造的に提示できている。 5項目すべて優れていれば「卓越している」。 5項目を満たしていれば「かなり上にある」。 4項目まで満たしていれば「やや上にある」。 3項目まで到達していれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	・ 次回分の文献範囲は、読んで予習をしておくこと。 ・ 授業で扱われたテーマに関して、学習仲間と自発的な議論を行い、理解を深めておく。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。							
(9)履修上の注意	・ 一緒に哲学しましょう。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	授業の前後やオフィスアワーにて対応する。matsuko@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	参考資料を配布します。							
【参考文献】	適宜紹介します。							